

## 会 議 録

会議の名称	第3回吉川美南駅前公共施設整備検討委員会	
開催日時	令和3年6月29日(火)	午後2時00分から 午後3時30分まで
開催場所	吉川市役所 304・305会議室	
出席委員(者)氏名	藏田幸三、高田明充、小松弥生、石井亮英、楊西希、金田桂子、高木淳、野尻一敏	
欠席委員(者)氏名		
担当課職員職氏名	政策室長 浅水明彦 政策室副室長兼政策室主幹 岡崎久詩 政策室調整幹 野尻宗一 政策室企画担当副主幹 油川誠 政策室企画担当主任 平塚雅史 教育委員会事務局教育部生涯学習課長 岩上勉	
会議次第と会議の公開又は非公開の別	[次第] 1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 基本構想(案)について (2) サウンディング型市場調査について (3) 市場調査のための公共機能及び規模の想定について 4 閉会 [公開・非公開の別] 公開	
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)		
傍聴者の数	2名	
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 吉川美南駅前公共施設整備基本構想(案)</li> <li>・資料2 サウンディング型市場調査について</li> <li>・資料3 市場調査のための公共機能及び規模の想定について</li> <li>・追加資料 吉川市市内企業新型コロナウイルス対策事例紹介冊子「新しい未来へジャンプ!!」</li> </ul>	
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録確認指定者	高木淳委員、野尻一敏委員	
その他の必要事項		

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 あいさつ</b></p> <p>(藏田委員長よりあいさつ)</p> <p><b>3 議事</b></p>
委員長	<p>議事録署名人を名簿順で高木委員と野尻委員にお願いします。</p> <p>(異議なし)</p>
	<p><b>(1) 基本構想(案)について</b></p>
事務局	<p>(資料に基づき説明)</p>
委員	<p>7月12日から約1ヵ月間パブリック・コメントを実施するとのことだが、市民はどこでどのように意見を発言できるのか。</p>
事務局	<p>市のホームページや各公共施設に配置する資料をご覧いただいた後、メールや所定の様式を用いて意見を提出いただく。在勤・在住・在学の方であれば誰でも意見を出すことができる。資料を置く具体的な公共施設は、おあしす、サービスセンター3か所、中央公民館、総合体育館、政策室窓口、市役所1階総合センターを予定している。</p>
委員	<p>市の財政のことを考えると民間事業者の資金・ノウハウに頼る必要性は理解できるが、例えばホール等の建設から維持管理運営まで全て民間に委託した場合、市や市民の意向はどのようにして反映されていくのか。民間事業と対話で折り合いをつけながら進めていくということか。</p>
事務局	<p>市場調査において、民間事業としてどこまで運営できるか、また市の意向をどこまで一緒になってできるか等を伺っていきたい。</p>
委員長	<p>市の財源で行おうとする事業であるが、運営が民間主体になるか行政主体になるかは現時点では決まっていない。民間から良い意見があれば、それに乗じて事業を進めていくという可能性を残した上で、広く整理している状況だと理解している。行政で実施する部分と民間の事業を合わせて進めていく形になっていくのではないかと予想される。</p>
委員	<p>市が土地・建物とも所有するケースは、市にとって財政的に可能なのか。</p>
事務局	<p>基本的な考え方としては民間活力の最大限の活用を掲げているため、そういった場合については改めて検討することになる。ただし、必要機能を基本計画で示す以上、市の負担で出来る範囲を示すことになり、該当部分について市が負担する形もあり得る。</p>
委員	<p>パブリック・コメントの際、市民に対して資料1のみ公表するのか。資料3のような具体的な機能・規模の想定も見せない意見は言いにくいのではないか。</p>

事務局	細かい条件を提示するほど、具体的な意見をいただけると考えているが、今回の基本構想ではあくまで方向性を示し、次の基本計画において具体的な内容を掲載し、再度パブリック・コメントを実施する予定である。
委員	ホールの席数が1,000席か300席等の規模感がイメージできる方が良いのではないか。
委員	資料3のホールの規模は小さすぎないか。検討委員会での一つの意見ということかもしれないが、人口が増加していることを考慮すると、やはり1,000席、最低でも600、700席のホールが欲しい。
事務局	資料3については、あくまで市場調査のために想定した規模であり、1,000席など300席を超える規模に対する民間事業者の意見も対話の中で伺いたいと考えている。
委員	パブリック・コメントは何件ぐらいの意見が集まると想定しているか。また、公共の窓口のみだと一般の方の目に触れにくい。人通りが多い駅や学校に置くなどの方法も良いのではないか。
事務局	他の計画等の実績では10件前後となっている。7月1日に発行する広報紙に案内を掲載したいと考えている。資料については、市のホームページにも掲載するため自宅でも閲覧できる。
委員	導入機能の順番に意味はあるのか。各要素が融合することが重要ではないか。また、ホール等の文化関連機能は付属機能が重要であり、カフェやレストランのような商業機能が望ましいのではないか。
事務局	記載の順番は市の意向等ではなく、あくまで市民ニーズを踏まえた資料を作成していく過程で、この順番で掲載した。機能のイメージについては、カテゴリー分けを意識しすぎた部分もあるので、各要素の融合や連携が伝わるような表現に変更する。
委員	立地が駅前であり、不特定多数の人が立ち寄った際に興味が湧くような、活用のきっかけとなるような施設をめざすことが望ましい。パブリック・コメントに関しても、興味がない人に対して伝わるよう、駅に小スペースに設けるなども良いのではないか。
事務局	パブリック・コメントの周知について、広報紙・チラシ等をそのような場所に置ける可能性があるため引き続き検討する。
委員	コンセプトが良いので、市民の期待に応えられるよう、それに見合うものを作らないといけないと感じる。見合うものを造ることができれば、吉川のシンボルになり得る。
事務局	公共機能部分だけでは難しさを感じており、民間事業者との連携で実現したいと考えている。
委員長	吉川の立地を踏まえると、物量・規模より質で勝負する方が得策である。市民の誇り・シンボルは、お金がかかった立派な建物ではなく、アフターコロナ時代に子供たちが住んでよかったと思えるようなメディア・文化、またそういった活動が起こるような仕組みをつくるのが、コンセプトを活かしていく現実的な手法だと考えられる。コスト等も考慮し取捨選択していけば、自ずとできることは限られてくるため、コンセプト、イメージをどこま

	<p>で磨き上げられるかが重要である。今回の駅前の立地は好機であり、民間機能が相乗りしたくなるような、また徒歩圏の人々に喜んでもらえるような質的な磨き上げが必要である。</p>
委員長	<p>基本構想（案）について、本日の意見を踏まえ、委員長と事務局で精査してまとめる方向で良いか。</p> <p>（異議なし）</p> <p><b>（２）サウンディング型市場調査について</b> <b>（３）市場調査のための公共機能及び規模の想定について</b></p>
事務局	<p>（資料 2、資料 3 及び追加資料に基づき説明）</p>
委員長	<p>ホールを使用するような業界が厳しい現状にある中で、（追加資料の冊子に掲載されているような）市内事業者の雇用、技術を活かしていくのが良いのではないか。実際の事業で手ごたえがあったならば可能性がある。360 度カメラの取り組みなども面白く、こういった担い手を中心となって取り組める仕組みが整備されるとお互い良い形となるのではないか。</p>
委員	<p>サウンディング型市場調査では、全部含めて事業を推進してくれる民間事業者のみが対象で、委員長が挙げたような市内事業者を対象として考えられるのか。</p>
委員長	<p>ゼネコン、開発を担うような大企業の意見だけではなく、ホール、メディア、スタジオ、飲食等の個別要素についても意見を聞きたいのであれば、その旨を明確に示していく必要がある。商工会やソフト面を担う市内事業者に対して情報提供や個別の説明会等を開催し、文化という新しい切り口で巻き込んでいくこともできるのではないか。</p>
事務局	<p>サウンディング型市場調査の段階でグループでの挙手は難しい。開発系起業以外の企業でもつながりがある企業に声をかける。</p>
委員	<p>図書室の機能も大きくなく、中途半端なものを作るのではあれば何かに特化したものにした方が良いのではないか。面積が限られているため、すべてが小規模になってしまう。</p>
事務局	<p>これまでの検討の中で機能は絞ってきたが、基本計画で必須機能を示していく上で、公共で整備する部分と民間に委託する部分を明確に示す必要がある。</p>
委員	<p>収益への考え方は各企業で異なるため、席数を増やした方が、運営上採算がある等の意見が挙がる可能性があるのか。</p>
事務局	<p>規模が大きいものが良いという意見はあるが、利用状況、貸出状況、今後のライフスタイルを踏まえて再度検討し、基本計画の中で示していきたい。</p>
委員長	<p>大胆な意見が出る可能性もあるが、市が示す想定を踏まえた範囲で、相乗効果が期待される民間提案が出てくるのが一般的である。</p>
委員	<p>300 席だと収益は出ないのではないか。ある程度市の財政負担が必要になるのではないか。一方で、大きいものを作った際、客が入るかという問題もある。また、資料 2 の対話予定項目に関して、公共に関する項目が多いが、</p>

	<p>まちづくりを考える場合、商業施設の魅力が大きな要素となる。面積的にも大きいため、商業施設のイメージや提案を出してもらえるような項目を追加したらいかがか。</p>
事務局	<p>収益性の問題はあるが、これまでの市民の利用の実績等をみると 300 席が妥当ではないかと考えている。オンラインの技術によって参加者が無限に広がる可能性もあり、民間事業者から意見をいただきたい。商業施設の項目追加については、検討する。</p>
委員	<p>ホールの状況をパブリックビューイングで複合的に行うといった、今までとは違うアイデアもあるのではないか。</p>
委員	<p>公共施設や公園でパブリックビューイングのようなものを同時に開催するといった案は事務局の方でも意見が挙がった。引き続き検討する。</p>
委員長	<p>デジタル技術を含めて席数をどう足していくかが重要。スタジオそのものを外から見えるような形にすることや、渋谷のキュービジョンのように広告場所として使うビジョンもあるかもしれない。発想の仕方を変えれば吉川美南駅前に変わったものが生まれる可能性がある。事業者の技術を借りてリーズナブルにできるのではないか。</p>
委員長	<p>サウンディング型市場調査については、項目を追加する方向で進めていくことで良いか。</p> <p>(異議なし)</p>
	<p><b>4 その他</b></p>
事務局	<p>今回は、7月12日開始予定のパブリック・コメント、7月下旬から実施予定のサウンディング型市場調査の結果を踏まえて開催したいと考えているため、9月後半頃の開催を予定している。</p>
副委員長	<p><b>5 閉会</b></p> <p>(高田副委員長よりあいさつ)</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和3年7月30日</p> <p>署名委員 高木 淳 (自署)                      署名委員 野尻 一敏 (自署)</p>	